

市民に寄り添う市政の実現!!

ごあいさつ

平素より後援会活動にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

市長就任から1年3ヶ月が経過しました。就任直後に新型コロナウイルス感染症対策室を設置し、コロナ関連対策を迅速かつ確実に実施して参りました。

国民一人10万円を給付する特別定額給付金も県下でも早い時期に支給することが出来ましたし、現在実施しておりますワクチン接種にしましても順調に推移しております。ご尽力、ご協力いただきました関係各位をはじめ多くの市民の皆様に感謝申し上げます。

今後とも、市民の皆様の幸せのため、次世代を担う子どもたちのために、全力で取り組んで参る所存ですので、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

篠田洋司プロフィール

昭和38年11月 美祢市伊佐町生まれ
山口県立大嶺高等学校、京都産業大学経営学部を卒業
昭和63年4月 美祢市役所入庁
平成20年3月 美祢市立病院事務長
平成25年4月 市長統合戦略局長
平成27年6月 美祢市副市長就任

(その他の経歴)

美祢市体育協会会長
美祢市野球連盟顧問
全日本軟式野球連盟公認審判員
(元)大嶺小学校PTA会長

後援会長あいさつ



河村達丸

しのだ洋司後援会会長の河村達丸でございます。

後援会の皆様には、平素から格別のご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

篠田洋司さんは、美祢市を愛する「郷土愛」、「正義感」、そして何よりも「人への優しさ」を豊かに持った人物です。

現在、適切な新型コロナウイルス感染症対策が求められる状況下であります。適切な「コロナ対策」、「安定した市政運営」がなされていると思っております。

私たち後援会は、支援の輪をさらに広げ、篠田洋司さんの活動を支えていきたいと考えています。皆様のごさらなる「理解とご支援」を心からお願い申し上げます。

市政報告

● 初登庁、市長就任式！

4月27日、多くの後援会の皆様の見送りを受け、市役所に初登庁しました。登庁後開催された市長就任式において、職員に「市の職員として働けるという感謝の念と誇りを持って仕事にあたって欲しい。ワンチームになって困難を乗り越えていこう！」とあいさつしました。



● 所信表明演説

令和2年6月16日、6月定例会市議会において所信を述べました

「私は、生まれ育ったこの美祢市の閉塞感、迷走する市政に危機感を覚え、現状を打破し、市民の皆様がこの地で生活して良かったと思えるまちにしたい、との強い気持ちから、先の選挙に立候補し、市民の皆様への負託を受けて、これからの市政運営を担わせていただくことになりました。

市長選挙におきましては、私の「行政経験」と、「国・県との連携」や「市民に寄り添うスタンス」を重視する姿勢に対して、多くの方々の期待と共感をいただいたものと思っており、こうした皆様への負託に応えられるよう、全力で市政運営に取り組んでまいります。」（以下省略）



● 市長報酬を削減

市長報酬を2割削減しました。削減期間は任期である令和6年4月までです。人口減少やコロナ禍で疲弊した地域経済の状況、市役所庁舎建設など多大な費用が見込まれる中、市民生活を守るための財源を確保する必要があります。

そのためには、市民生活に影響のない経費削減が求められます。まずは、自らの報酬を削減する首長の姿勢が重要であると判断しました。

● 市役所新本庁の規模削減！

私は選挙公約といたしまして、新本庁舎整備の規模を見直すことを掲げさせていただいており、当初計画の、新築部分6,800㎡、平米単価を48万円として、新築工事費約32億円とされていた計画を見直すことを実施しました。

見直し後は、新築部分が4,530㎡の規模となり、当初計画よりも1/3程度規模を縮小しました。これにより、約10億円の事業費削減となります。

現本庁舎が約2700㎡ですので、計画面積は6800㎡で今の約2.5倍にあたります。直感的に大きすぎますし、大きすぎる庁舎はランニングコストもかかります。

何よりも、建設費の大部分は借金です。5年据え置きで25年間で払っていきます。10億円を25年で割ると、元金だけで、1年間4千万円借金返済が減ります。次世代に重い負担にならないようにすべきとの判断から、新本庁舎規模を縮小させていただきました。

秋芳、美東総合支所建設につきましては、市民活動の場である多目的ホールを当初計画より広げ、また、新たに子育て相談機能や児童クラブのスペースを確保するようにしました。両総合支所の完成時期は財政負担の平準化と市内業者の発注機会確保の観点から、1年6ヶ月程度延ばすことになりました。この点につきましては、ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

● コロナ関連対策予算(令和2年度)

迅速なコロナ対策を講じるため、32億3千2百万円の予算を確保し、64事業を実施しました！
令和2年度における主な事業、予算額は以下のとおり。

- ・特別定額給付金給付事業（市民1人あたり10万円を給付）… 23億7千万円
- ・プレミアム付き（プレミアム率30%）商品券発行事業… 9千2百万円
- ・サービス事業者等に対する事業継続支援… 8千6百万円
- ・観光事業者に対する事業継続支援等… 2千1百万円
- ・年末年始における飲食業支援… 2千万円
- ・中小企業者に対する融資… 7千4百万円
- ・経済再興に向けた企業の設備投資支援… 5百万円
- ・店舗、事業所の感染症対策に関する設備改修支援… 1千万円
- ・宿泊施設に対する機能継続支援… 8百万円
- ・コロナの影響により失業した方への再就職支援… 6百万円
- ・公民館、保育園など公共施設のWi-Fi環境等整備… 3千万円
- ・令和2年度中に出生した新生児に対する補助（1人10万円）… 8百万円
など

● ウンカ被害に対する支援を実施！

令和2年度はトビイロウンカ被害が甚大であったことから、県下でもいち早く支援策を打ち出し、水稻作付（飼料米等も含む）全農業者に対し、10aあたり2,500円を支援しました。
結果、1,277人（法人含む）に総額 約4千万円を補助しました。



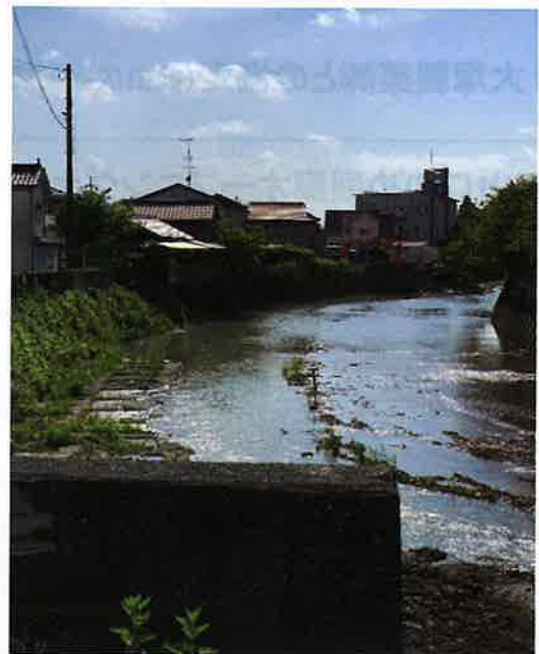
● 防災、減災に力を注ぎました！

市長就任前から、多くの住民の方から、河川氾濫を心配する意見がありました。

市長就任後、県知事要望などを通して、県の管理河川の浚渫を強く要望しました。

市の管理河川についても浚渫を加速的に進める計画です。

今後も、災害の少ないまちづくりを進めてまいります。



* 写真は河川浚渫が実施された伊佐川

活動報告

● 各方面と包括連携協定を締結しました！



* 山口県立大学との協定(前川理事長との写真)



* (株)モンベルとの協定(辰野CEOとの写真)

● 下関市、長門市とアウトドアツーリズム協議会を設立



* 大塚製薬(株)との協定(前田広島支店長との写真)



* 前田下関市長、江原長門市長と意見交換

● 山口ゆめ回廊オープニングセレモニー



● 林芳正 参議院議員を表敬訪問

